

熱く 羽ばたけ 大潟っ子

白鳥



校長通信
大潟村立大潟中学校
令和5年7月14日(金)発行
NO.4 文責:小玉 克男



PTA授業参観が行われました！

7月5日(水)の午後、PTA授業参観が行われ、全体会、PTA研修会、学年・学級懇談も併せて行われました。今回の参加者は74名で、参加率は約90%。毎回、たくさんの方のご来校いただき、本当にありがとうございます。授業参観では、1年生は英語(時刻を問う疑問文)、2年生は国語(14歳の短歌)、3年生は理科(浮沈子、水圧)の授業をご覧いただきました。授業をご覧になっての感想などをいただけますと幸いです。今後も本校の教育活動及びPTA活動へのご理解、ご協力を、よろしく申し上げます。



1年英語



2年国語



3年理科

全体会から

授業参観後の全体会では、PTA会長の遠藤暁様からご挨拶いただいた後、校長から次のようなお話をさせていただきました。

「令和5年度もあっという間に3か月が経過しました。日頃の授業や体育祭などの学校行事、部活動の取組も、順調に進めることができています。これも保護者の皆様や地域の方々の、本校の教育活動へのご理解、ご協力があったからこそだと思います。本当にありがとうございます。本校はICT教育が進んでいますが、昨年度までの課題の一つとして、情報モラル教育の充実があげられていました。そこで本日は、『あきた県庁出前講座』を活用し、生涯学習課の菊地智先生をお招きして、『インターネットの健全利用について』と題しての研修会を実施させていただくこととなりました。午前中には、生徒向けの講話、このあとは、保護者向けの講話をしていただきます。今日は晩ご飯のときなど、講話の内容について、お子さんと話題にいただければ幸いです。

もう1点、通知表のことについて連絡します。本校では、生徒の学習や活動の様子を保護者の皆さまにお知らせするため、年2回、通知表を出しています。今年度は、昨今の学校での働き方改革の一環として、10月の通知表には、所見欄の学級担任からのコメントは記載しないこととしました。その分、それまでの授業での様子やテスト結果から分析したこと、学級や部活動での様子などについて、夏休み中に行う三者面談で、個別に丁寧に説明させていただきます。保護者の皆さまにもいろいろなご意見があることはと思いますが、ご理解、ご了承くださいますよう、よろしく申し上げます。」

続いて、学校運営協議会会長の藤井真様から、委員の紹介や会の方針などをお話いただきました。

また、村教育委員会から、部活動の地域移行については、令和7年度までに適切に移行できるよう検討する旨の報告がありました。



学校運営協議会の委員の皆様

PTA研修会「インターネットの健全利用について」

全体会后、あきた県庁出前講座を活用し、生涯学習課の菊地智様をお招きして標記の講話を拝聴しました。午前中は生徒を対象に、午後は保護者を対象にしてお話いただきました。生徒向けには、1日の中でインターネットを活用する時間を生み出すために何の時間を削るか、グラフにして考えてみるとよいこと、保護者向けには、子どもとインターネット利用についてよく話し合うことが大切なことなどのお話がありました。トラブルになったとき、なりそうなどときなど、子どもが相談しやすいよう、大人はいつも味方であるということを生徒に伝えていきたいと思ひます。



PTA研修会の様子

学校運営協議会中学校部会開催！

学年・学級懇談と並行して、校長室にて学校運営協議会中学校部会を開催しました。授業の感想の他、様々なご意見をいただきました。内容を検討し、取り入れる必要があるものについてはすぐに対応したいと思います。保護者の皆様からもご意見をいただければありがたいと思ひますので、ウェブ上で実施している「保護者向けアンケート」の記述欄にお書きいただけますよう、よろしくお祈ひします。

学校運営協議会中学校部会委員の方々のご意見(抜粋)

- ・1年生の英語、先生方のやりとりが楽しい。子どもたちも意欲が湧いているようだ。
- ・2年生の国語(短歌)、先生方の工夫がすごい。楽しい授業。
- ・3年生の理科(浮力)、浮沈子を扱っていた。浮沈子と関係付けていたのかもしれないが、画面に魚の映像と音楽が流れていた。画面をぼーっと見てしまう子はいないか心配である。
- ・全学年、楽しく興味を引くもので、体験させて考えさせている。ニュースや実生活での関わりをもたせると更にいいのではないか。発表するときの話すスピードを、もう少し速くしたい。
- ・授業中の姿勢がよくない生徒が見られる。学校でちゃんと指導しているのか。息子が勉強中姿勢が悪いので注意したら、反発された。学校でふだんから注意していないからではないか。しつけとして、家庭でどこまで教えてほしいのか、学校から提案してほしい。例えば、靴を揃える、挨拶など。保護者にも、先生方や他の保護者の悪口を子どもの前で言わないようにしてほしい。
- ・PTA役員と学校運営協議会委員の連携を図りたい。交流会の場を学校で設定してほしい。年1回でいいので、給食付きで意見交換会を実施したい。
- ・弁当を持参する日があるが、本当に必要か。キャラ弁が多くなるなど、本来の目的が変わってきているのではないか。

しつけについて

「しつけ」とは、一般的に「日常生活での行儀作法や生活慣習の型を身に付けさせること、主に家庭内での初期教育」と捉えられているのではないかと思います。「三つ子の魂百まで」というように、乳幼児期に人格形成の基本ができあがるということは科学的に証明されていて、中学生になってから変えるのは簡単ではありません。

学校運営協議会の委員の方から、どこまで家でしつければいいのか、という話題がありましたが、〇〇は家庭で、□□は学校で、という線引きはできないのではないのでしょうか。例えば、姿勢よく学習する、ということができていない生徒に、「それは家庭でしつけることだから学校では指導しません」ということにはならないからです。ただし、生徒が家で過ごしているときの生活(食事や入浴、睡眠、家庭学習、情報モラルなど)については、学校での指導に限界がありますので、ご家庭のご協力が必要です。

生徒に行儀作法や生活慣習の型を身に付けさせるためには、家庭、学校が連携して子どもを育てていくという意識が大切ではないのでしょうか。ちょっと変だな、と気が付いた大人が、躊躇(ちゅうちゅう)せず声掛けすること、それを家庭でも学校でも繰り返していくことで、社会に出たときに困らない生活慣習を身に付けさせていきたいと思ひます。